

就活日誌

<就職先>

業種：インターネット関連， 商社（服飾雑貨）

勤務地：東京都（転勤なし）

所属：総合職

<就活活動記>

2008年（3年生）

9月 月末から、本格的に就活を始める。各新卒採用のサイト、4社に登録する。登録後は、毎日サイトを見るようにした。書店に行き、SPIや面接の対策本を読む。

両親から、公務員を勧めてもらったため、公務員対策の情報を集めるも、試験を受けるかどうか迷っていった。

10月 就活をする上で、自分のしたいことに当てはまる企業や業種で見て回ることを決める。勤務地はこだわらなかった。学内で行われたSPI模擬試験を受ける。

本格的にエントリーを開始する。まずは、自分の希望に合う企業や業種でエントリーをしたが、有名企業が多かったのが現状である。

この月は、合同説明会やどの企業の説明会にも行かなかった。エントリーシートの書き方や、自分たちの世代の就活はどうなるのか学ぶセミナーに2回足を運び、まずは自分の弱点である文章表現力を高めようとした。

また、ゼミのJOINTやISFJ、サークルもアルバイトもそれぞれ掛け持ちしていたので、どうやりくりするかを悩ました。

秋・冬用スーツを購入。入学式で着たスーツが体に合っていなかったため。

11月 初の会社説明会と、合同企業説明会に行く。どちらの会も希望の企業ではあるが、東京で説明会がなかったため、最寄り名古屋まで足を運んだ。人の多さと、独特の緊張感に圧倒される。

また、希望業種の業界研究セミナーに足を運んだり、業界本を何冊か買い、常に新しい、知らない情報を身につけていくようにした。

サークルの活動で手が一杯になり、第三週のみ就活を休業。サイトを見る余裕もなくなる。その後、一週間ぶりにメールの受信箱を開くと150件もの就活メールが来ており、読むのに1時間以上かかった。

掛け持ちしていたバイトの一つを辞めることにした。

12月 業界説明会， 合同企業説明会を中心に回る。希望業種のみでなく、それに関連する業種も見始める。希望業種に決まらなかった場合も考えてである。

電車に乗る度に切符を買うことが面倒に感じ、Suicaを購入する。また、電車賃を少しでも減らすため、青春18切符も購入した。

関連業種の中で、第一希望の会社が人気の余り説明会の東京会場が予約できなかったため、席が余っていた大阪会場に行くことになった。この際、人気企業の説明会を予約する時は、予約開始の数分前からパソコン前いて、すぐにクリックできるようにした方がいいと学ぶ。

2009年(3・4年生)

1月 企業ごとの会社説明会に本格的に行くようになる。第3週目から、1週に4、5回は東京に行くようになり、就活生の実感がわく。効率的に、より多くの企業の話聞くため、一日に2社以上の会社を回るようにした。

初めてエントリーシートを提出する。第一志望でもあったため、完成に1ヶ月を要した。この頃は、会社指定のエントリーシートのみを使用していた。

近場であったため、学内で行われた、合同公務員説明会に参加した。

2月 テスト期間と重なり、両立が厳しく、負担を感じ始める。東京から帰ってきたらテスト勉強と、次の日の会社の志望動機を考えねばならず、資料室に泊まり始める。家では寝てしまうため、次の日の電車に間に合うように、ぎりぎりまで2つをこなしていた。この頃は、自分の家は風呂に入り、着替えるだけの場所だった。

また、バイトも週1、2回に減らした。

3月 テスト期間が終わり、就活に専念できるようになる。この月が訪問した企業数が一番多かった。手帳も説明会の予定で黒く埋まった。

筆記試験やエントリーシートの提出が本格的になったが、ことごとく不採用通知を受ける。自分の希望業種は、この月までに決まらなければほぼ絶望的であるため、今後の就活のみならず、将来にも不安を感じる。

バイトは月3回にまでに減った。

4月 希望業種のみでなく、それに関連する業種の企業も本格的に受験する。今までは、まだ希望業種の企業選考が残っていたため、ほとんど目を向けてこなかった。

新歓時期であったので、3月よりも東京に行く回数が減る。また、新歓や授業を途中で抜けて就活に行くこともあった。

内定をもらったという声を周りからちらほら聞き始める。焦りを覚えたが、人それぞれによって違うと言い聞かせていた。

この月からバイトを一切入れず、内定を取るまで入らないことにした。

5月 今までは、筆記試験やエントリーシートなど、全て一次試験で不採用になっていたが、少しずつ二次試験にまで進めるようになる。

6月 希望業種に関連する業種の企業も次々に不採用通知を受ける。持ち駒も減り始め、少しでも希望の企業に出会おうと、また新たに2社新卒採用サイトに登録する。

新卒者専用のハローワークに行く。しかし、独特の雰囲気によって圧倒され、どの職員も対応中だったため、何も得られず引き返す。さらに、新卒者向け就職斡旋企業に行き、自分の就活について話し、今までに問題はなかったか、履歴書の添削、これか

らどう進めるか等、アドバイスを受ける。

7月 持ち駒がないため、希望とは全く関係ない企業を受け始める。練習という意味でも受けたが、志望動機や入社後の自分を全く想像できず、途中で断念。そのため、登録しているサイト全てを使い、希望業種のキーワードを入力し、少しでも当てはまるもの全てにエントリーする、ローラー作戦を敢行。

これを通じ、自分の希望業種でも知らなかった、その業種への様々な関わり方を知る。希望業種であれば、職種は問わないで見ることが決意。

夏用スーツを購入。暑く、一着では着回せなくなったため。

8月 電車代を少しでも節約するために、電車を使う場合は、JR線ではなく東武線を使うようになる（片道で約600円の節約が可能）。

この時に第二志望だった企業の人事の方から、自己分析では見えなかった自分の弱点を多く指摘され、改めて自分を見つめ直し、就活の戦略を立て直す。これが就活でのターニングポイントとなる。

9月 採用試験を受ける度、最終面接まで合格できるようになり、確かな手ごたえを感じ始める。

10月 月末に内定を1社もらう。卒論やサークルの関係もあり、就活を一時終える。今後は、希望業種の企業が見つかった場合にのみ、再開すると決める。

2010年（4年生）

1月 ある新卒採用サイトから、希望業種の企業の採用があるというメールを貰う。現状の内定先よりも希望に近かったため、採用試験を受ける。しかし、最終面接で不採用となる。三ヶ月ぶりの面接だったため、少し緊張し、慣れの重要性を感じる。

今後、希望業種の採用活動はほぼないと判断し、就活を終える。

<就活を振り返って>

私は、中村研究室の学生が公務員系の仕事の希望者が多い中で、公務員を受けず、それと全く関係のない業種を見ていたので、良くも悪くも異端児だったと思います。そのため、私の就活日誌はあまり参考にはならないと思います。とはいえ、東京に行った回数や民間企業の受験数は他の人と比べてもかなり多く、長期に渡ったので、もし民間も受けることを考えていれば、少しでも力になりたいと考えています。

多くの人が就活は辛いと、就活中や終わった後に言いますが、私の正直な感想は楽しかったというのが本音です。なぜならば、希望業種が私の趣味の一部であるので、結果に関わりなく、自分の知識やスキルを向上できたと思っていましたからです。また、私は知らない街に行くことが好きで、いずれ勤務地となるであろう東京という場所に詳しくなれば、同僚などと話すときに自然なコミュニケーションが取れると考えていたため、最後まで続けることができました。